

平成29年度 いばらき輝く教師塾

茨城県教育研修センター
第6日 11月25日(土)

特別講演会「グローバル人材の育成とおもてなしの心」
～輝く教師を目指して～

講義資料



筑波大学客員教授
Global Manner Springs 代表
江上 いずみ 氏

【要旨】

- ・おもてなしの心とは、表裏のない心により行われる見返りを求めない対応である。これは、児童生徒を第一に考え、授業を工夫し、環境を整える教師という仕事に通じるものである。
- ・相手が好感をもつかどうかは、第一印象が重要である。第一印象を高めるためには、5原則（表情・態度・身だしなみ・言葉遣い・挨拶）を正しく身に付けることが大切である。
- ・グローバル人材を育成するには、外国語の習得だけでなく、日本の文化を理解し、外国の方にしっかり伝えるなど、互いの文化を尊重し合う態度の育成が重要である。

<ワークショップ⑥> Let's enjoy English with ALT!





塾生のアンケートより

特別講演会「グローバル人材の育成とおもてなしの心」の感想

- 日本の文化や歴史を海外と比較したり、意味を考えたりすることにより、良いものであると感じ、誇りに思うことができる。【学生】
- 江上先生の講演を心地よく聞くことができた。細やかな気配りは、勉強が苦手な子どもや特別な配慮が必要な子どもの対応にも必要となるので見習いたい。【若手教員】
- おもてなしの心を表すには、相手によって「表情」、「声」、「姿勢」を変えながら、配慮ある言動が大切だということを改めて勉強することができた。【学生】
- 飛行機事故の話が印象に残った。今、自分が生きていることがどれだけ幸せなことなのかを実感した。【若手教員】

本日の感想

- 英語を使ったゲームをもっと知りたい。楽しみながら英語を使い、日本文化や異文化を理解させるような授業づくりに努めたい。【若手教員】
- 英語が苦手な不安もあったが、楽しく英語に触れ合うことで、苦手意識が消えた。子どもたちに、このような体験をさせることが英語教育に必要であると感じた。【学生】
- 日本文化をしっかりと伝えるためには、日本文化の理解を深めること、英語でコミュニケーションできることが大切であると感じた。【若手教員】
- 英語教育で何が求められ、何をすべきかが分かった。英語を使うことにより、異文化理解と国際理解につなげられるようにしたい。【学生】